

平成 29 年度 山城地方社会教育委員連絡協議会研修会開催要項 (案)

- 1 趣 旨 山城地方の社会教育委員、生涯学習審議会委員、社会教育関係者が一堂に会し、社会教育活動の状況や研究成果を交流し、社会教育の今日的課題の解決をめざし、心豊かなつながりのある地域社会をつくるための研究協議を行う。
- 2 研修主題 *学び合い、支え合う社会教育の推進*
～垂直統合社会から水平協働社会へ～
- 3 開催日時 平成 30 年 1 月 19 日 (金) 14:00～16:30
- 4 会 場 八幡市立生涯学習センター
- 5 主 催 山城地方社会教育委員連絡協議会
- 6 後 援 山城地方教育委員会連絡協議会 (予定)
八幡市教育委員会 (予定)
- 7 参加者 山城地方市町 (広域連合) 社会教育委員、生涯学習審議会委員及び社会教育関係者
教育委員会関係者、学校教育関係者
社会教育・生涯学習に関心のある方

8 日 程

13:30	14:00	14:20	14:30	14:50	16:20
受付	開会 行事	会場 移動	課題提起	ラウンドテーブル	各分科会 流れ 解散

9 内 容

(1) 開会行事

挨拶及び趣旨説明

山城地方社会教育委員連絡協議会長

(2) 課題提起

(3) ラウンドテーブル

3分科会をもつ予定それぞれに課題提起、司会・記録担当を割り当てる

終了後、分科会ごとに山城地方社会教育委員連絡協議副会長が閉会挨拶を行います。

12:50 当日打ち合わせ

山城地方 社会教育委員連絡協議会 研修会	
年度	研究主題
20年度	「地域をこえた地域づくり」 ～コーディネーター・ファシリテーターとしての社会教育委員の役割～
21年度	「地域をこえた地域づくり」 ～大人のネットワークづくりをめざして～
22年度	ポスターセッション テーマ 「親を育てる」「子どもを育てる」「地域を育てる」 「組織を育てる」「自分を育てる」
23年度	「震災をうけて社会教育は何ができるのか～全社研のまなびをどう活かすのか～」 ～全社研のまなびをどう活かすか～
24年度	「社会的親」の創出による「公共力」の醸成 ～見て見ぬふりする社会から、おせっかいな社会へ～ 「地域を育てる」 八幡市「災害時に役立つ地域づくり・社会教育活動」 久御山町「挨拶運動を通して」 精華町「地域を育てるための社会教育委員としての役割とは」
25年度	「絆のある地域社会を育てる」 ～活力と絆のある地域社会の実現に向け 社会教育委員の役割とは～
26年度	「絆のある地域社会を育てる」 ～学び合い、支え合う地域社会の実現に向けて 社会教育委員の役割とは～
27年度	「絆のある地域社会を育てる」 ～互いに助け合い、支え合う地域社会の実現に向けて 社会教育委員の役割とは～
28年度	「学び合い、支え合う社会教育の推進」 ～幼児から高齢者までをどうつなぐか～
29年度	「 」 ～ ～

京都府の研究主題

26年度	「京都力を活かしたつながりづくり」 ～地域の絆を強める社会教育委員の役割～
27年度	「社会教育委員として異世代間交流を考える」
28年度	「学び合い、つながり合う社会教育委員」 ～子どもとともに、地域のために～
29年度	「学び合い、支え合いを育む社会教育」 ～未来につながる地域づくり～